

埼玉県議会議員 江原くみ子

県議会
レポート

2025
特別号

935

通信



皆さま、こんにちは！

厳しい寒さも和らぎ、スギ花粉が猛威を奮っていますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

3月27日に埼玉県議会2月定例会が閉会しました。令和7年度の予算は一般会計で2兆2,160億円（対前年度+963億円、4.5%増）となりました。大野元裕知事からは、①未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦②「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現③DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進、という3つの大きな柱が示されました。



新年度も地域のお声を聞きながら、県政の課題解決に努めてまいります。

1月28日には八潮市で大規模な道路陥没事故が発生しました。事故が発生した中川流域下水道管事業は昭和47年度に着工し、既に50年以上が経過しています。同様の事故を防ぐためにも、さらに徹底した点検と維持管理が必要だと考えています。施設、道路、上下水道、こうした公共インフラの老朽化対策は多くの費用がかかることもあり、後回しにされがちです。市や町とも協力しながら、安心、安全の徹底のため提案を続けていきます。

今年も「くみちゃん聞いてよ」をモットーに頑張ります。引き続きよろしくお願いいたします。

埼玉県議会議員 江原くみ子

江原くみ子は「国民民主党 埼玉県 参議院選挙区 第1総支部長」に！

令和7年1月8日に国民民主党は江原くみ子氏を埼玉県参議院選挙区第1総支部長に決定しました。埼玉県議会議員として県政に係わる物事はもちろん、埼玉県から日本を元気にするため、日々、活動をしています。



◆1月8日 記者会見
国民民主党埼玉県連会長鈴木義弘代議士と参議院議員上田清司氏が同席してくれました。



◆連合埼玉と政策協定を結びました。



◆国民民主党埼玉県連の仲間である黒澤熊谷市議、三浦狭山市議、ボランティアの皆さんと駅頭活動を行いました。



◆1月24日 通常国会初日の夕方、新橋駅前の街頭演説会場で榛葉幹事長と正論パンチ！



◆2月11日 党大会参加
国民民主党の結党の原点は『つくろう、新しい答え』。です。結党以来のこの言葉には、次の思いが込められている。

日本が進む、新しい道をつくりたい。だから、私たちはここにいる。

政治家がこの国の課題を解決できるのか？それは違う。家族や大切な人、子ども目線で捉え、同僚や仲間の距離で考える。老いた体や心に向き合う。それぞれの現場に足を運び、本当の声に耳を傾ける。だからこそ、求められる新しい答えを見つけることができる。みんなの声を集め、みんなで答えをつくっていきましょう。古川元久代表代行の挨拶が胸に突き刺さりました。

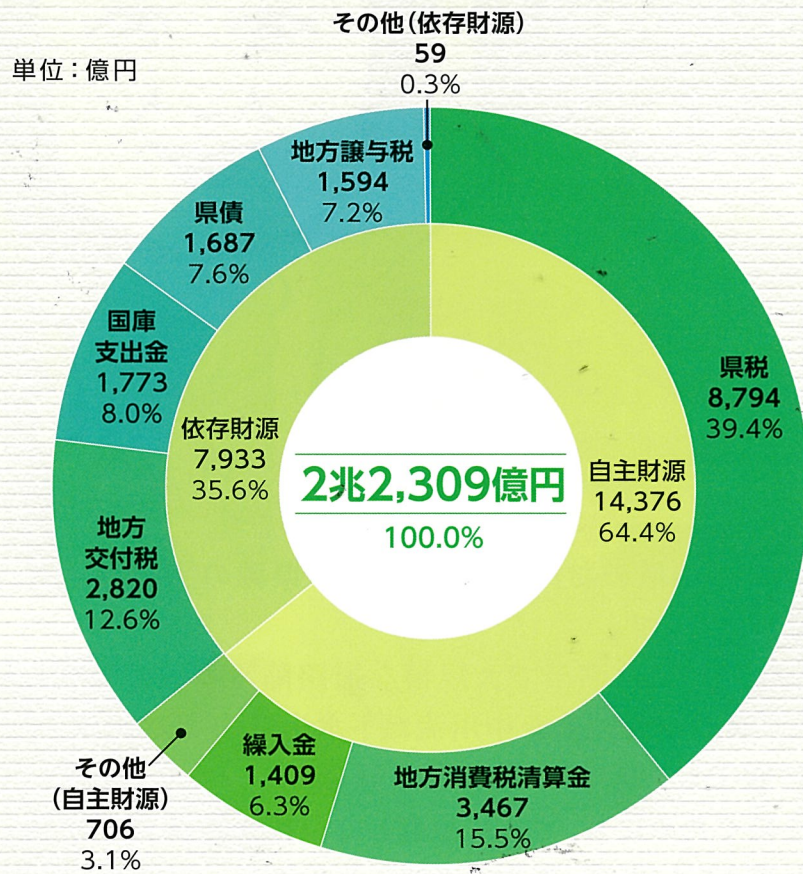
二項対立ではなく、特定の主義主張にとらわれることなく、国や国民が直面している課題に現実的に向き合う『改革中道政党』として、具体的な解決策を新しい答えとして示し、その実現のために『対決より解決』の姿勢を貫いている。まさにここになんだと。この政党を選んで良かった。この政党で頑張っていきたい。心からそう思える瞬間でした。

江原くみ子の最新活動情報は、公式サイト・SNSで更新中！



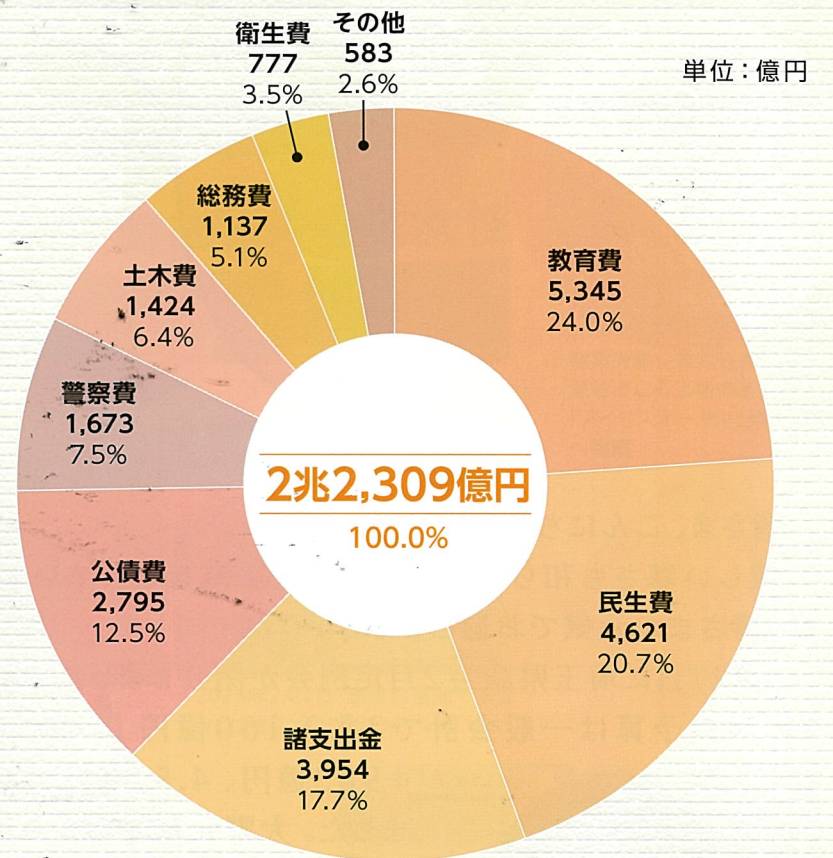
令和7年度予算が成立しました

◆ 歳入 ◆



- ◆ 県税収入は、個人県民税や法人二税など8,794億円を計上
- ◆ 県債は、緊急防災・減災事業債や公共事業等債など1,687億円を計上
- ◆ 国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,773億円を計上

◆ 歳出 ◆



- ◆ 教育費は、教職員給与費や公立小中学校における1人1台端末整備にかかる市町村への補助金など5,345億円を計上
- ◆ 民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金など4,621億円を計上
- ◆ 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,954億円を計上

※端数処理のため計が合わない場合がある。

◆ 令和7年度予算のポイント ◆

歴史的課題への挑戦

1 人口減少・超少子高齢社会への対応

- ◆ 持続可能なまちづくりと経済成長の実現
- ◆ 「こどもまんなか社会」の実現
- ◆ 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

2 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え



「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現

1 安心・安全の追究

- ◆ 災害・危機に強い埼玉の構築
- ◆ 県民の暮らしの安心確保
- ◆ 介護・医療体制の充実

2 誰もが輝く社会

- ◆ 子育てに希望が持てる社会の実現
- ◆ 未来を創る子供たちの育成
- ◆ 人生100年を見据えたシニア活躍の推進
- ◆ 誰もが活躍し共に生きる社会の実現
- ◆ 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

3 持続可能な成長

- ◆ 未来を見据えた社会基盤の創造
- ◆ 豊かな自然と共生する社会の実現
- ◆ 稼げる力の向上
- ◆ 儲かる農林業の推進

江原くみ子が注目している 主要施策20選



安全・安心な水の安定供給

- 1 河川の水質異常や水質の急激な変化に対応するための高度浄水処理施設の整備。

こどもの居場所づくりの支援

- 2 「こどもの居場所フェア埼玉」の開催や、アドバイザー派遣による支援、ひとり親家庭への支援、児童手当の支給、就労相談、養育費の履行確保など。

ヤングケアラーサポート

- 3 支援コーディネーターの設置やSNSを活用した相談窓口の運営、学校教職員・市町村職員向けの研修。

こどもまんなか社会の実現、子どもの貧困対策

- 4 「さいたまけん★こどものこえ」登録者へのアンケートの実施、安心安全な親子交流の支援、小学生から高校生までの学習支援。

里親等委託の推進

- 5 「乳幼児ケアエキスパート」の育成。

遠隔教育の展開

- 6 遠隔授業配信センターの設置とICTを活用した遠隔教育の展開へ向けた研究。

江原くみ子の提案したオリヒメの活用も！▶



7 高校生のキャリア教育・産業教育の推進

地元市町村と連携して産業団地を整備する

(継続6地区)

- 8 行田富士見地区、富士見上南畑地区、鴻巣箕田地区、久喜高柳地区、吉見大和田地区、美里甘粕地区。

「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出

- 9 渋沢MIXを設置、運営し、様々な業種、規模の企業やスタートアップ等の交流、マッチングによりイノベーションの創出を支援。イノベーション人材の育成。

次世代ものづくり産業のイノベーション支援

- 10 将来の成長が見込まれる技術や製品の開発への補助。市場ニーズ把握、実証実験等の支援。

下水道の資源有効活用と温化対策

- 11 下水汚泥の肥化事業化検討、焼却灰の肥料利用試験。下水道施設へのPPAの導入検討。

カーボンニュートラルの推進

- 12 家庭・企業への省エネ、再エネ活用設備導入に対する補助金。県有施設での太陽光発電導入設備、電動車補助など。

県有施設の脱炭素化

- 13 公立学校の照明設備のLED化改修工事。

儲かる農林業の推進

- 14 大規模農業法人の誘致、地域農業計画の作成支援。農地中間管理機構の運営支援。

埼玉農業の競争力強化

- 15 食のプロが評価する県産農作物の魅力や特徴を情報発信。県産和牛の差別化、「えみほころ」の安定生産技術の確立。

インフラ管理におけるDXの推進

- 16 道路や河川などの日常管理を支援するアプリの導入。道路、河川の3D測量の推進。

空き家対策の促進

- 17 自治体の空き家バンク支援、地域活性化の取り組み補助。

災害・危機に強い埼玉の建築

- 18 図上訓練や災害リハビリテーション対応マニュアル作成。

警察活動の強化

- 19 警察官175人の増員、通信指令システムの高度化。

交通事故抑止対策

- 20 AIを活用した交通事故発生リスク評価・可視化データの導入。

◆ 交通ルールとマナーの再確認！ ◆

令和5年4月から、大人も子供も自転車乗車時には、ヘルメット着用が努力義務化されました。埼玉県は、県民一人あたりの自転車保有台数は全国でもトップクラスです。自転車は生活の中で身近な乗り物である一方で、危険運転をする例も後を絶ちません。安心して移動できるまちを目指し、もう一度、交通ルールとマナーの再確認してみませんか？

自転車の交通死亡事故の中で、最も多いのが頭部の負傷ですが、ヘルメットを着用することで、致死率の半減が見込めます。埼玉県のヘルメットの普及はまだまだで、3月末のヘルメット普及率は3.3%とのこと。ヘルメット着用への抵抗感やデザイン性などの声もいただきますが、最近はキャップ型やハット型などのデザインも多様化しています。

被害者にも加害者にもならないよう、交通ルールを守って利用したいものです。

自転車安全利用5則



- 1 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先

- 2 交差点では、信号と一時停止を守って、安全確認

- 3 夜間はライトを点灯

- 4 飲酒運転は禁止

- 5 ヘルメットを着用



埼玉県マスコット「コバトン」

※1～4は、違反すると3か月以下の懲役、または5万円以下の罰金などの罰則があります。

毎月10日は自転車安全利用の日です！

935 活動報告



◆2025年も多くの新年会へ参加しました



◆大野知事と一緒に
彩の国資源循環工場を視察しました



◆埼玉県産業技術総合センター
(通称SAITEC=サイテック)に視察



◆JAふかや通常総代会



◆深谷市消防フェア2024で教育長と



◆正智深谷高校サッカー部の皆さんとサッカー議員連盟
で激励会。彼らは『第103回全国高校サッカー選手権』
に出場します



◆連合埼玉全国環境一斉行動！
のクリーンアップ登山



◆寄居朝顔まつりでザクロジン
ジャーをいただきました



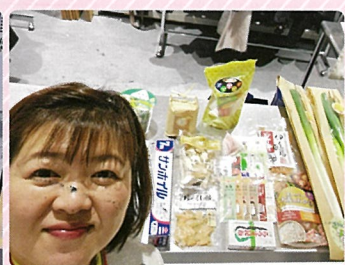
◆グランドゴルフ大会へ参加



◆八坂神社夏季大祭



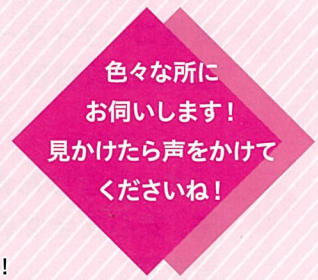
◆峯岸克明町長の町政報告会



◆2025年2月7日 東京八重洲で開催
されたおにぎりサミットへ伺いました！



◆産業労働企業常任委員会で、
深谷市にも工場のある
「アイリスオーヤマ」角田工場
へ視察



色々な所に
お伺いします！
見かけたら声をかけて
くださいね！



◆先輩にお誘いいただき始めてALL法政の新年会に
参加！右写真は廣瀬先生と



ブロッコリーが『指定野菜』に 追加されます！

甘味が自慢の深谷産のブロッコリー。厳しい寒さに耐えた春のブロッコリーは、ひときわ甘味が強く、芯まで柔らかくて瑞々しい味わいです。また、タンパク質が多く含まれ、栄養素が豊富なブロッコリーは、手軽に調理ができ、食卓の彩にも大活躍な野菜です。この度、農林水産省は「国民生活に重要性が増した」としてブロッコリーを令和8年度から『指定野菜』に追加することを決定しました。指定野菜の追加はなんと、52年ぶり！とのこと。『指定野菜』に追加されると、価格変動に応じた国による生産者支援がおこなえるため、安定供給に繋がると期待されています。



◆ブロッコリー指定野菜へ向けた知事への要望活動

江原くみ子 プロフィール

1970年11月15日生まれ A型

さそり座

- ◆3人兄妹の末っ子。深谷市生まれ。
- ◆好きな食べ物／ご飯、餃子、茶碗蒸し。
- ◆白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘小学校、南中学校、県立熊谷女子高校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉県信用金庫で6年間勤務の後、大学入学のため退職、大阪外国語大学開発・環境専攻（専攻語ドイツ語）へ。ケルン大学（環境先進国であるドイツ）へ留学、法政大学大学院政策科学専攻（環境コース）修了。奨学金は完済！
- ◆市議会議員を経て、2015年より埼玉県議会議員（現在3期目）



江原くみ子 県政事務所

お気軽にお立ち寄り下さい。



〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17 Y's PreciousI 101 TEL.048-598-6706 FAX.048-598-6750 E-mail:info@eharakumiko.net

県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

お手数おかけいたしますが、切り取ってファックスでお送りください。
FAX.048-598-6750 935通信 2025
※いただいたご意見の個人情報は厳重に取扱い、適正に管理させていただきます。

